

令和2年度・第37回ニッサングリーンカップ山梨県少年サッカー選手権

大会要項

■名 称：令和2年度・第37回ニッサングリーンカップ山梨県少年サッカー選手権

■主 催：山梨日日新聞社、山梨放送、(一社)山梨県サッカー協会

■主 管：(一社)山梨県サッカー協会4種委員会

■協賛：日産プリンス山梨販売、甲斐日産自動車、日産部品中央販売、日産カーリファイン山梨

■日程・会場

1. 大会期日：令和3年/2/7(日). 2/14(日). 2/21(日). 2/23(火) 予備日押原G (3/14)
2. 開会式 2/7 8時30分 小瀬補助
3. 試合会場：1日目・2/7(日) 16会場（峡東2、小瀬補助2、甲府6、峡中6）
2日目・2/14(日) 16会場（峡東4、小瀬補助2、甲府6、峡中4）
3日目・2/21(日) 決勝トーナメント（役員、事業運営部）中央市農村公園
4日目・2/23(火) 準決勝・決勝戦・閉会式（役員、事業運営部）押原G
4. 運営担当：1日目、2日目は、各会場責任チームが担当する。小瀬補助は、甲府が担当する。
3日目、最終日は、役員及び事業運営部員が担当する。

■ 組合せ抽選：山梨県4種委員会理事会にて実施する。

■参加資格

1. 「参加チーム」は、日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
2. 「選手」はチームに所属するJFA登録選手で、スポーツ障害保険に加入済であること。
3. 女子選手については、(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
4. 当該チームの大会エントリー登録選手数が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から追加登録することができる。

5. 引率指導者は参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、チーム役員の内1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。なお、大会期間中、複数のチームを引率することは出来ません。
6. 会場確保及び運営等に協力できるチームであること。
7. 大会参加申し込みは **2020年12月1日（火）**までに各地区理事が取りまとめ、運営担当地区理事に通知する。
8. 大会エントリーシステム KICKOFF による大会参加申請は、各チームの登録責任者または代理者により **令和3年1月16日（土）～2月5日（金）**の期間内に行うこと。
9. **4種委員会が定める「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を遵守できるチーム。**

■複数エントリー

1. 複数エントリーを認める。但し、チームは上記「参加資格」を満たしていること。
2. 複数エントリーチームは大会参加費 5,000 円を開会式当日に地区理事に収める。

■大会形式

1. 出場チームを、16 パートに分け、予選リーグを行う。
 - ① シードを採用する（JFA 第 44 回全日本 U-12 サッカー選手権大会山梨県大会上位 8 チームが対象）
シードチームは、各パートに振り分ける。
 - ② 予選リーグ各パート 1 位による決勝トーナメントを行い、優勝を決定する。
 - ③ 1 日目、2 日目は、予選リーグ。3 日目は、決勝トーナメント 1 回戦と準々決勝。最終日は、準決勝と決勝を行う。
2. リーグ戦での順位の決定は、①勝点（勝=3、分=1、敗=0）②得失点差③総得点④直接対決⑤抽選の順による。不戦敗は、0 対 5 の扱いとする。

■競技規則

1. 公益財団法人日本サッカー協会 2020～2021 競技規則及び「8 人制サッカー競技規則」による。

■大会規定

1. 競技のフィールド サイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m × 幅（ゴールライン）50m（推奨）

ペナルティーエリア： 12m ペナルティーマーク： 8m ペナルティーアークの半径： 7m ゴールエリア： 4m センターサークルの半径： 7m

2. 使用するボールは検定皮革 4 号球を使用する。

3. 競技者の数

a. 競技者の数： 8 名（8 名に満たない場合は試合を行わず、得点を 0 対 5 として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により 8 名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。）

b. 交代要員の数： 8 名以内

c. 大会登録選手は 20 名以下とする。

d. 交代を行うことができる回数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

e. ベンチ入り選手の人数は問わないが、交代要員と区分できるようにベンチを設置する。但し今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為ベンチ入り人数を交代要員の 8 名以内に制限する。

4. メンバー表及びエントリー票の提出

a. メンバー表は毎試合開始 30 分前までに、エントリー票とともに本部に提出すること。また、会場運営責任者はエントリー票とメンバー表が一致するか予め照合する。エントリー票に記載のない選手は出場できない。

b. 「エントリー票」は KICKOFF 申請より最終承認の後、チーム情報及びエントリー選手情報が記載されている「大会申込書」をプリントアウトしたものをいう。大会期間中はメンバー表とともに保管し毎試合ごとにメンバー表とともに本部に提出する。

c. 選手証の提示を必要とする。大会 1 日目、2 日目は、会場運営責任者がメンバー表に記載された選手と選手証及び本人を照合（1 試合目のみ行う）、3 日目は、会場運営責任者、最終日は事業運営部員が全試合照合する。選手証に不備あった（選手証・写真の確認ができない）場合、当該選手は試合に出場することが出来ない。

d. 選手証の提示は、顔写真付きのエントリー票やカード型選手証とする。

5. ベンチ入りするチーム役員の数

- a. 2名以上3名以下とし、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJ F A D級コーチライセンス以上を有している必要があります。
- b. 公認指導者ライセンスの提示を必要とする。また、会場運営責任者に提示を求められた場合は速やかに応じること。(スマホアプリ可)
- c. ベンチサイドは、組み合わせ表番号の小さいチームがグラウンドに向かって左側とする。

6. 審判員

- a. 1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。
- b. 参加チームは必ず2名以上の審判員を帯同すること。審判証の提示が必要とする。(スマホアプリ可)
- c. 1日目・2日目においては、当日試合の割当てによる。
- d. 3日目の主審・第4の審判は審判部が担当し、副審は前の試合のチーム帯同審判が担当する。(第1試合は、副審も審判部)
- e. 最終日は、審判部が担当する。

7. テクニカルエリア及び交代ゾーン設置する。

8. 競技者の用具・ユニフォーム

- a. 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。
- b. 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- c. 正・副の2色については、明確に異なる色とする。
- d. ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- e. ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- f. 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- g. 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

- h. ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- i. アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- j. アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- k. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けることが望ましい。ショーツの選手番号についてもつけることが望ましい。
- l. ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。

9. 試合時間

- a. 試合時間は40分（前後半各20分）とする。ハーフタイムは選手の休息5分を確保する。（予選リーグ6チームのパートは、試合時間30分）

10. ペナルティーキック方式

- a. 3日目以降は10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。

11. 交代の手続き

- a. 交代は「自由な交代」とし、第4の審判の確認を得て、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代ゾーンから行うことができる。（主審の承認を得る必要はありません）
- b. ゴールキーパーの交代は、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。また、ゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から出なければならない。代わりに入るゴールキーパーは、交代ゾーンからフィールドに入る。
- c. ゴールキーパーとフィールドプレーヤーの入替は、ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て入替をする。
- d. 新型コロナ感染対策として、ビブスの着回し防止のため交代時はビブスの受け渡しを行わず第4の審判による背番号のチェックにより交代する。

12. 懲罰

- a. 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。審判報告書使用して次の試合に申し送る。退場を命じられた競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充できる。

- b. 警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

13. 安心安全な環境づくり

暴力・暴言・差別を排除した環境づくりの一環としてマッチウェルフェアオフィサーを配置し、オフィサーの気付き通じた説明や講評を行うことがあります。

14. その他

■新型コロナウイルス感染症対応について

- a. 国、県、市町村関係機関及び大会主催者から発せられる要請等により大会を中止する場合があります。
- b. 新型コロナウイルス感染予防拡大防止は主管する4種委員会及び参加チームの社会的責務とし、「YFA事業再開ガイドライン」及び大会要項に記載されていない事象についてはJFA 7月20日発行の「新型コロナウイルスの影響によるJFA国内競技会開催可否の判断基準について」に従うこととする。さらに、YFA 4種感染防止対策ガイドラインにより求められる対策を確実に実施したうえで参加することが求められる。

■開閉会式の運営は、主催者による。

■雨天時の大会開催は、原則として実施する。

■降雪等で試合実施が不可能な場合は、試合方法、日程の変更を含め理事会において判断し指示する。

- ①予選リーグ（1日目、2日目）の実施が不可能な場合は、トーナメント戦方式（初日試合時間30分、他40分）
- ②1日目を実施できない場合、開会式は、別に案内する。
- ③大会1日目予選リーグの中止・延期の連絡は、当日6時55分のYBSラジオ放送による。（遠方のチームには、電話連絡）2日目以降は、各チームに電話連絡する。
- ④降雪によるグラウンドの雪かきが必要な場合は、当該会場で試合を行う全チームが協力して行う。

■会場責任者は試合結果に誤りのないことを確認し試合終了後直ちに広報部へ連絡する

■警告・退場等がある場合の審判報告書の送付、重要事項等も広報部宛送付願います。

連絡先：鈴木和幸（広報部長） FAX 055-251-7164

■AD証の携行について

チームスタッフ（指導者）は大会会場及びベンチ入りする際は、必ずAD証を携行しなければならない。AD証不携行の場合は会場及びベンチ入りが出来ない。

15. 問い合わせ先

実行委員長：石原幸周 山梨県サッカー協会 4種委員会委員長

大会運営責任者：峡東地区理事 風間 斉 090-8598-1295・廣瀬幸司 090-1208-7119

会場運営責任者：各会場運営責任チームの責任者

事業運営部長：三科 健二郎 090- 2255- 1595

峡中会場責任者:望月一徳 090-4840-1205 甲府会場責任者:志村 祐 090-7412-7692

峡東会場責任者:風間 斉 090-8598-1295